



キウイフルーツ病害虫防除暦



JA 中野市園芸課

散布日	散布時期	散布薬剤(水100ℓ当り)	収穫前使用時期	使用回数(以内)	散布量ℓ/10a	対象病害虫	注意事項
月 日	3月下旬 発芽前	(水90ℓ) 石灰硫黄合剤 10ℓ	発芽前	—	300	越冬病害虫 カイガラムシ類	① 石灰硫黄合剤は隣接するハウスピニールにかかるないようにする。 ② 【代替】 石灰硫黄合剤に代えてスプレー油 100 倍(発芽前)でもよい。 ③ 剪定跡にはトップジンMペースト(3回以内)を必ず塗布する。
月 日	5月下旬 開花前	展着剤(ハイテンパワー) アルバリン顆粒水溶剤 アグレプト水和剤 10mℓ 50g 100g	前日 90日前	3回 4回	350	花腐細菌病 かいよう病 カメムシ類	① 主幹部のコウモリガ食入はハリガネ等で刺殺する。 ② 敷設時期を厳守する。(開花前)
月 日	7月上旬	展着剤(ハイテンパワー) ダコニール1000 10mℓ 100mℓ	60日前	7回	350	果実軟腐病	
月 日	10月上旬	展着剤(ハイテンパワー) トップジンM水和剤 10mℓ 100g	前日	5回	350	果実軟腐病	① 収穫前の最終防除。 貯蔵・追熟中の病害の重要な防除となります。

* 上記以外で、キウイフルーツに登録のある農薬例

農薬名	倍率	収穫前規制	使用回数	対象病害虫	使用時期
フェニックスフロアブル	4,000	7日前	3回	キイロマイコガ・ケムシ類	5月下旬頃
モスピラン顆粒水溶剤	2,000	7日前	3回	カイガラムシ類	5月下旬頃
アディオン乳剤	2,000	7日前	5回	カムシ類・キイロマイコガ	7月下旬から8月下旬

時期	薬剤名	濃度	使用回数	注意事項
開花後20~25日 (6月下旬~7月上旬)	フルメット液剤	2.5ppm (水4ℓに 10ml 瓶1本)	年間を通じて 1回のみ	① 果実浸漬、または果実散布 ② 着果过多の場合、樹勢が低下する恐れがあるため、適正着果量にする。
開花後25~30日 (6月末~7月上旬)	フルメット液剤	5.0ppm (水2ℓに 10ml 瓶1本)		

* 処理が遅れると、肥大効果が十分ではなくなります。開花後30日までに処理してください。

* 早い時期に処理する場合は、濃度が濃いと変形果の発生が多くなるので注意しましょう。

6月~7月末で果実の大きさが決まります。土壤の乾燥や摘果遅れ等に注意してください。

混用例: 展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル(DF)⇒顆粒水和剤(WDG)⇒水和剤

安全・安心な農産物生産のために 防除・使用基準を厳守しましょう

当防除暦の複製・コピーを禁止します